

1 学年 社会科 年間評価計画

【地理】

- 第 1 部 世界と日本の地域構成
- 第 2 部 世界のさまざまな地域

【歴史】

- 第 1 章 歴史へのとびら
- 第 2 章 古代までの日本
- 第 3 章 中世の日本
- 第 4 章 近世の日本

【評価材料】

定期考査・ワークシート・ノート・振り返り・小テスト・授業観察

【地理】

第1編 世界と日本の地域構成

章		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1	世界の地域構成	緯度と経度，大陸と海洋の分布，主な国々の名称と位置などを基に，世界の地域構成を大観し理解している。	世界の地域構成の特色を，大陸と海洋の分布や主な国の位置，緯度や経度などに着目して多面的・多角的に考察し，表現している。	世界の地域構成について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
2	日本の地域構成	我が国の国土の位置，世界各地との時差，領域の範囲や変化とその特色などを基に，日本の地域構成を大観し理解している。	日本の地域構成の特色を，周辺の海洋の広がりや国土を構成する島々の位置などに着目して多面的・多角的に考察し，表現している。	日本の地域構成について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。

第2編 世界のさまざまな地域

章		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1	世界の人々の生活と環境	緯度と経度，大陸と海洋の分布，主な国々の名称と位置などを基に，世界の地域構成を大観し理解している。	世界の地域構成の特色を，大陸と海洋の分布や主な国の位置，緯度や経度などに着目して多面的・多角的に考察し，表現している。	世界の地域構成について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。

節		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1	アジア州	アジア州をいくつかの地域に分けて人口増加と急激な経済発展によるさまざまな影響を整理し、地域ごとの違いをふまえながらアジア州全体の地域的特色や課題を理解している。	他地域との結びつきやアジア州という地域に着目し、人口増加と急激な経済発展を取り上げて、アジア州に暮らす人々に与える影響やそれによって生じる課題を多面的・多角的に考察、表現させる。	人口増加と急激な経済発展を中心に、アジア州に暮らす人々に与える影響やそれによって生じる課題を主体的に追究し解決しようとしている。
2	ヨーロッパ州	ヨーロッパ州に暮らす人々の生活をもとに、ヨーロッパ州の地域的特色を大観し、EU 統合や文化の多様性に関わる課題が地域的特色の影響を受けて独自の様相を見せていることを理解する。	他地域との結びつきや地域などに関わる視点に着目して、EU 統合や文化の多様性に関わる課題の要因や影響をヨーロッパ州の地域的特色と関連付けて、多面的・多角的に考察し、表現している。	日本との比較をまじえながら、ヨーロッパ州の人々の生活に関心を持ち、地域的特色及びEU 統合や文化の多様性に関わる課題を意欲的に追究しようとしている。
3	アフリカ州	アフリカ州の人々の生活や産業の特色を歴史的背景をふまえて理解しているとともに、資料からアフリカ諸国とヨーロッパ諸国との関係の深さを調べまとめている。	一つの国が輸出品を特定の農産物や鉱産資源にたよるようになった原因を迫り、そのような貿易形態の問題点を多面的多角的に考察し、解決に向けて選択・判断している。	モノカルチャー経済やヨーロッパとの関係に着目しながら、アフリカ州の地域的特色に関心を高め、課題の解決を主体的に追究しようとしている。
4	北アメリカ州	多様な民族が暮らすアメリカ合衆国において、広大な国土を利用して大規模な農業が行われていることや世界をリードし続けている工業の姿について理解しまとめている。	北アメリカ州の地域的特色や課題を、そこに暮らす人々の生活のようすをもとに、多面的・多角的に考察している。	世界に大きな影響を与える北アメリカ州の産業や文化について主体的に追究し、課題を解決しようとしている。
5	南アメリカ	多様な文化を受け入れながら独自の文化を形成してきた歩みと、経済成長をとげた国とそうでない国とが共存する地域の姿を理解するとともに	近年の顕著なブラジルの経済成長の要因と、経済成長とともに環境問題が起きていることやその解決を多面的・多角的に考察している。	多民族の共存や近年の経済成長に着目しながら、南アメリカ州の地域的特色と農地や鉱山の開発の地域に対する影響を主体的に追究し、解

		に、ブラジルでは経済発展が進む一方で、経済格差などの問題が生じていることを、本文や資料から調べまとめている。		決しようとしている。
6	オセアニア州	自然環境の影響を受けながら生活するオセアニア州に暮らす人々のようすと、多文化社会の問題点を克服しながら多様な民族が共存するオーストラリアやニュージーランドの社会を理解するとともに、地図や統計資料などから、オセアニア州とアジア州との深い関係を調べまとめている。	オセアニア州の国々が、旧宗主国であるヨーロッパの国と密接な関係を保ちながら、近年アジアとのつながりを深めている理由や課題を多面的・多角的に考察している。	広大な海洋を背景に展開される生活や、オーストラリアやニュージーランドの多文化社会に着目しながら、オセアニア州の地域的特色や地域の新たな課題を主体的に追究、解決しようとしている。

【歴史】

第一章 歴史へのとびら

節		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1	歴史をとらえる見方・考え方	年代の表し方や時代区分についての基本的な内容を理解している。	時期や年代、推移、現在の私たちとのつながりに着目して、小学校での学習を踏まえて歴史上の人物や文化財、出来事などを、時代区分との関わりなどについて考察し、表現している。	歴史の表現方法や歴史的な見方・考え方について、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。

2	身近な地域の歴史	様々な手段で地域の歴史について調べたり、収集した情報を年表などに適切にまとめている。	比較や関連、時代的な背景や地域的な環境、歴史と私たちとのつながりなどに着目して、身近な地域の歴史的な特徴を多面的・多角的に考察し、表現している。	自らが生活する地域や受け継がれてきた伝統や文化への関心をもって、身近な地域の歴史について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。
---	----------	--	--	--

第二章 古代までの日本

節		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1	世界の古代文明と宗教のおこり	世界の古代文明や宗教のおこりを基に、世界の各地で文明が築かれたことを理解している。	古代文明や宗教が起こった場所や環境、農耕の広まりや生産技術の発展などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、世界の古代文明や宗教のおこりについて、古代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。	世界の古代文明や宗教のおこりについて、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。
2	日本列島の誕生と大陸との交流	日本列島における農耕の広まりと生活の変化や当時の人々の信仰、大和朝廷（大和政権）による統一の様子と東アジアとの関わりなどを基に、東アジアの文明の影響を受けながら我が国で国家が形成されていったことを理解している。	農耕の広まりや生産技術の発展、東アジアとの接触や交流と政治や文化の変化などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、日本列島における国家形成について、古代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。	日本列島における国家形成について、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。
3	古代国家の歩み	律令国家の確立に至るまでの過程、摂関政治など	東アジアとの接触や交流と政治や文化の	律令国家の形成、古代の文化と東ア

	と東アジア世界	を基に、東アジアの文物や制度を積極的に取り入れながら国家の仕組みが整えられ、その後、天皇や貴族による政治が展開したことを理解している。	変化などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、律令国家の形成、古代の文化と東アジアとの関わりについて、古代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。	ジアとの関わりについて、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。
--	---------	---	---	--

第三章 中世の日本

節		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1	武士の政権の成立	鎌倉幕府の成立などを基に、武士が台頭して主従の結び付きや武力を背景とした武家政権が成立し、その支配が広まったことを理解している。	武士の政治への進出と展開、農業や商工業の発達などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、武家政治の成立について、中世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。	武家政治の成立について、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。
2	ユーラシアの動きと武士の政治の展開	元寇(モンゴル帝国の襲来)などを基に、元寇がユーラシアの変化の中で起こったことを理解している。	南北朝の争乱と室町幕府、日明貿易、琉球の国際的な役割などを基に、武家政治の展開とともに、東アジア世界との密接な関わりが見られたことを理解している。	農業など諸産業の発達、畿内を中心とした都市や農村における自治的な仕組みの成立、武士や民衆などの多様な文化の形成、応仁の乱後の社会的な変動などを基に、民衆の成長を背景とした社会や文化が生まれたことを理解している。

第四章 近世の日本

節		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1	ヨーロッパ人との出会いと全国統一	ヨーロッパ人来航の背景とその影響，織田・豊臣による統一事業とその当時の対外関係，武将や豪商などの生活文化の展開などを基に，近世社会の基礎が作られたことを理解している。	交易の広がりとその影響，統一政権の諸政策の目的に着目して，事象を相互に関連付けるなどして，世界の動きと統一事業について，近世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し，表現している。	世界の動きと統一事業について，そこで見られる課題を主体的に追究，解決しようとしている。